

鏡川流域パートナーシップだより No.40 R5.3.3



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

令和4年度鏡川流域外関係人口講座最終回。鏡川流域との関わりはこれからも続きます！



2月28日(火)に、鏡川流域外関係人口講座「エディット KAGAMIGAWA」の第5回講座(最終回)を行いました。受講生の皆さんは首都圏を中心に全国各地からオンラインで講座に参加。これまで講座の一環として、高知市内での現地フィールドワークに参加したり、「青山ファーマーズマーケット(東京の青山にて開催)」に出店したりと、「編集」の視点で鏡川への関わりを深めてきました。講座の最終回では、受講生の皆さんが感じた鏡川の魅力や今後の鏡川への関わり方などを発表。それぞれの視点から鏡川流域を自分事として捉え、関心を寄せてくださった受講生の皆さんに、改めて、感謝の気持ちで溢れる発表内容でした。



「ぼっちり」の体験チケットで高知市中央市場見学の同行者を募集し、早朝5時から市場を訪問するなど、積極的に関わってくれた山川千紘さん。山川さんの作成したZoomの背景画像を受講生の皆さんも使用していました！



鏡川流域の自然の中で、本を読みながらゆったり過ごす時間を作りたい！という思いから、「River & Reading」というスポットを立ち上げた河野健吾さん。令和5年4月22日には高知市土佐山桑尾沈下橋の古民家にて鏡川読書会を開催予定！TwitterやInstagramも開設して広報に取り組んでいます！

鏡川流域への関心事をスポットや体験チケットで表出し、企画を実現している河野さんの活動から今後も目が離せません！きっと、鏡川流域に関わる人たちの交流がさらに促進されるはずですよ！



講座のファシリテーターとして受講生の皆さんをサポートくださった吉池拓磨さん。東京・世田谷の桜神宮境内で「もちより屋台」という屋台を営業しており、「ぼっちり」のスポットにもなっています。今後も、首都圏から鏡川流域に関わる人たちが集う「鏡川流域関係案内屋台」として活躍してくれることでしょう！

1月には流域外講座受講生を対象に新年会を開催。首都圏在住の受講生や1期生が参加し、鏡川流域にまつわるグルメやお酒を楽しみました！オンラインで高知市と中継する場面も！



受講生の皆さんのそれぞれの関心事から、「ぼっちり」の体験チケットが多数生まれました。



受講生の皆さんの発表内容やこれまでの取組を紙面で全て伝えることはできませんが、「ぼっちり」の体験チケットとしてすでに可視化されているのでぜひご覧ください。受講生の皆さんが今後も鏡川流域の「関係案内人」として、鏡川流域に親しみ、流域外からの人の交流を生み出し続けてくれることを期待しています！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone Android